

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年4月9日

木曾地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	8	課題区分	A				
実施機関	木曾保健福祉事務所		担当課	所属	木曾保健福祉事務所福祉課		
事業名	災害時における要配慮者支援のための研修会			電話	0264-25-2218		
				E-mail	kisoho-fukushi@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	人口が少なく、面積が広く、高齢化率の高い木曾地域において、災害が発生した際、要配慮者に対し、どのような支援が必要なのか、現実的にどのように対応すべきなのかを学び、要配慮者への支援力向上を目指す。					
	現状と課題	東日本大震災以降、木曾地域においても福祉避難所の設置が進められてきたが、要配慮者に対してどのような支援が必要なのか明確となっていない点も多い。要配慮者の方々にとってどのような支援が必要となるのか、福祉担当者、防災担当者の認識を高めていく必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	要配慮者の支援に詳しい同志社大学社会学部教授 立木 茂雄氏を講師に迎え、町村の防災担当者、福祉担当者や福祉避難所指定施設の職員等を対象として講演会を開催する。 ・日時 平成30年3月16日(金) ・場所 木曾合同庁舎 講堂					
	事業期間	平成29年11月2日		～	平成30年3月31日		
	成果目標	災害時における支援方法のイメージを深め、避難確保計画等の作成に生かしていく。また、県及び町村が協力し、防災訓練時において福祉避難所の設置訓練を行うなど、要配慮者に係る防災力を向上させる。					
事業費等	事業費	110,220 円				(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	最終計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8	講師謝金	50,000	50,000	50,000	0	
	9	講師費用弁償	40,000	40,000	37,220	2,780	
	11	消耗品等	3,000	3,000	3,000	0	
	12	通信費等	5,000	5,000	5,000	0	
	14	使用料等	2,000	15,000	15,000	0	
	計		100,000	113,000	110,220	2,780	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果			評価	
	災害時における要配慮者支援のための講演会を開催 日時:平成30年3月16日(金)13:30～15:20 場所:木曾合同庁舎 講堂 内容:講演「排除のない防災へ」 講師 同志社大学社会学部教授 立木茂雄氏 参加者63名 (福祉関係事業者29名、行政関係者23名、障害関係団体等3名、民生児童委員2名、シニア大学生等6名)		アンケート結果:「とてもよかった」、「まあまあよかった」(5段階の上位2段階)が、回答47名中、44名(93.6%)。参加者から「今の防災で抜けている部分であり行政の立場から積極的にかかわってほしい」、「個別支援計画がどのようなものか、策定のイメージがわかった」などの意見があり、災害時の支援方法のイメージを深めることができた。また行政(防災・福祉)と地域が連携し合い、当事者力と地域力を高めながら防災力を向上させる機会となった。			○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下	
今後の方向性	防災、福祉担当が連携し、防災訓練等において要配慮者を想定した避難訓練や福祉避難所の設置訓練等を実施するとともに、避難確保計画や個別避難計画の作成を進め要配慮者に係る防災力の向上に努める。						